

## 平成30年度 第3回松本市都市計画策定市民会議 議事録

開催日時：平成31年3月18日（月）午後2時00分から午後3時00分まで

開催場所：松本市役所本庁舎 第一応接室

出席委員：中出文平委員長（長岡技術科学大学副学長・教授）

一ノ瀬浩道委員（株式会社商工組合中央金庫松本支店長）

山中正二委員（長野県宅地建物取引業協会理事）

坂口一俊委員（松本建設事務所計画調査課長）

欠席委員：小林忠由副委員長（アルピコ交通株式会社取締役運輸事業本部長）

青木孝子委員（松本商工会議所女性会会長）

塩野崎道子委員（松本市農業協同組合理事）

舟久保辰男（松本市医師会理事）

野村睦広委員（松本市社会福祉協議会地域福祉課長）

堀内正雄委員（松本市町会連合会長）

事務局：小出建設部長、桐沢都市政策課長、神戸課長補佐、柳澤課長補佐、岡田係長、岩淵主査、脇谷技師、澁谷技術員

### 1 開会

（桐沢課長）

平成30年度第3回松本市都市計画策定市民会議を開催する。

### 2 挨拶

（小出部長）

今年度3回目の市民会議である。この会議は、立地適正化計画策定のため平成28年4月にスタートし、今回で10回目となる。計画は、平成31年1月から2月にかけて実施したパブリックコメント等を踏まえて計画をまとめ、年度末に公表する予定である。

本日は、パブリックコメント等の意見と計画見直しについて報告するとともに、今後の都市計画の進め方を説明する。

途中で交代された委員もいたが、足掛け3年におよぶ市民会議について、最終回を迎えることができた。立地適正化計画に限らず、幅広く意見をお願いしたい。

### 3 議事

#### (1) 松本市立地適正化計画の見直しについて

##### ア パブリックコメント等の結果

（岩淵主査）

資料1を説明

（中出委員長）

資料1について質問や意見をお願いしたい。（特になし）

##### イ 松本市立地適正化計画

（岩淵主査）

資料2を説明

(中出委員長)

前回会議で提示した素案に対して、居住誘導区域の面積はどのくらい減少したのか説明して欲しい。

(岩淵主査)

北松本駅の西側の奈良井川合流点付近や南松本駅東側の田川と牛伏川の合流点付近などが、2～5mの浸水想定区域に指定されている。主にこれらの範囲を除外したことにより、居住誘導区域は54ha減少した。

(中出委員長)

パブリックコメントは、今回の区域を提示し、実施したものか。

(岩淵主査)

そのとおりである。

また、先ほどの説明に加えて、83ページに記載した集約型都市構造実現のイメージ図を松本市版に改善したことを報告する。現状のままでは、市街地はアイスクリームが溶けるように薄く拡大していくと考えられる。松本市が目指す姿として、公共交通と連携し、拠点となる市街地を維持していく必要性を伝えたい。

(中出委員長)

その他の質問や意見はあるか。(特になし)

松本市都市計画策定市民会議としても、事務局から説明いただいた内容により、松本市立地適正化計画の見直しを成案として了解したい。

(2) 今後の松本都市計画の変更に向けた取組状況について

(柳澤課長補佐)

資料3を説明

(中出委員長)

今後の取組みとして、平成31年度から平成32年度にかけて松本市都市計画マスタープランの見直しを行うとの説明であった。意見をお願いしたい。

(坂口委員)

県としても、都市計画区域マスタープランについて協議を進め、圏域マスタープランの見直しにも着手する予定がある。具体的方法やスケジュールについては、今後も松本市と協議しながら進めたい。

(中出委員長)

県の都市計画ビジョンが先日公表された。今後は、圏域マスタープランや都市計画区域マスタープランを見直す流れとなっている。県が区域区分や区域マスタープランを決定し、市が用途地域などを決定する。都市計画道路については、県決定と市決定があるなど、都市計画は相互に関わりあっている。

松本市都市計画マスタープランの見直しは市が行うものであるが、県の意見も聞く必要がある。十便に協議、連携して進めてほしい。

他に意見が無ければ、議事は以上とする。

#### 4 閉会

(桐沢課長)

松本市都市計画マスタープランの見直しにあたっては、新たに市民会議を立ちあげることとなる。引き続き委員をお願いすることになるかもしれない。

3年間にわたる協議にお礼を申し上げ、会議を閉会する。

以上